

県産業廃棄物最終処分場の建設撤回 要望署名

茨城県知事 大井川 和彦 殿

2020年5月26日、大井川知事は日立市諏訪町の日立セメント太平田鉱山跡地を笠間市にある「エコフロンティアかさま」（2005年稼働時日本最大規模の産廃最終処分場）の後継候補地として発表しました。この計画では私たちの環境と命とが危うくなります。故郷日立を産業廃棄物汚染から守り、未来永劫、安心して暮らせる土地とするため、下記を要望します。

【要望】 日立市内への県産業廃棄物最終処分場の建設を断念すること。

【要望理由】

- ① 「エコフロンティアかさま」への産廃運搬車等の出入数（往復）は中小含め1日平均約500台であり、中丸町からの新設道路が建設されても市内の交通・生活環境悪化は避けられない。
- ② 新設道路の建設により、4^{km}に亘って桜川から唐津沢にかけての貴重な自然が破壊される。
- ③ 「エコフロンティアかさま」は日本最大級の、かつ、関東で唯一の「廃棄物処理センター」であり、特別管理産業廃棄物や特別管理一般廃棄物等の埋立等しているが、地下水等からはダイオキシン類や大腸菌類等が、また、場内放射線空間線量も、有意に検出されている。
- ④ 太平田鉱山は日立市内で最も人口密度の高い多賀支所管内にあり、候補地としては論外。
- ⑤ 候補地は唐津沢という広大かつ急峻な沢であり、水が流れ、溜まっている。沢に作れば河川や地下水への、長期かつ広範囲にわたる影響（汚染）は避けられない。
- ⑥ 近年多発している異常降雨により、当該産廃処分場が破壊され、鮎川及び桜川流域に甚大な被害が出ることは必至である。洪水対策からも「唐津沢の湖」は残すべきである。
- ⑦ この間の県の地質調査では建設予定地の石灰岩層から空洞や高透水性が確認されている。
- ⑧ 太平田鉱山は東海第二原発から12^{km}にあり、過酷事故時には立入が禁止されるため、管理ができず、公衆衛生上の大問題が発生する。
- ⑨ 太平田鉱山跡地は「エコフロンティアかさま」より遥に大きく、百年以上先まで増設される恐れがある。
- ⑩ 多賀山地には日本最古の5億年前の地層群やウミユリ等貴重な化石が確認されており、一帯をジオパーク等で保存活用し、日立市の新たな町おこしにつなげるべきである。

氏名	住所（住所が同じ方も、お手数ですが番地までご記入ください）
	茨城県 市 町

【取り扱い団体： _____】

署名送付先：〒316-0001 日立市諏訪町5-24-7 数藤まち子 宛

署名実施団体：県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会（電話090-6817-2838、ホームページ <http://voice2020next.org>）、個人情報には使用致しません。